



今季の豪雪(160cm)の金良世界でゴッソりんご火田が、ブルーエヤ草の緑色に変わってしまった。
冬を乗り越え、りんごの蕾も膝くらみだし芽吹きを待っています。雪の重さで樹幹や40年以上の大木が倒れてしまったり、裂けてしまったものもありました。
可能な限り、補強したり、治療を万全し、今年もりんごがなるような状況にしていきたいと思います。
もうすぐりんごは目を覚まし動き出しますが、元気に花が咲いてくれる事を願っています。

りんご園の春の音

毎年、りんご園ではいろいろな音を聞きながら『春』の訪れを感じています。しかし、今年はいつもと違う音も聞こえてきました。それは…融雪剤を撒くドローンやラジコンヘリコプターの羽音。

今年は雪が多かったため、なかなか雪が解けが進まず、ドローンやヘリコプターで融雪剤をまいています。
暖かくなってくるとりんごの木から葉っぱが出て花が咲きます。りんごは待っていてくれないので、少しでも早く雪が解けて作業を進めたいと思っています。

最初、聞き慣れない音に「ん??」って感じでしたが、これら、春の音の仲間入りになるのかもしれないですね。久米



マメコバチ大作戦!!

先日「マメコバチを守る会」の講演会に行ってきました。マメコバチは「りんごの花」の受粉を手伝ってくれます。私たちもマメコバチの巣を設置したり管理しています。
近年りんご農家でマメコバチが減少し、危機的状況にあります。私たちのマメコバチも全滅に近いほど数が減っています。講演会ではマメコバチの習性や生態などを教えてもらいました。
教えてもらったことを活かし、これからマメコバチを増やしていきたいです。マメコバチが元気に飛び回る、優しい園地にしていきたいと思っています。
対馬

小動物と一緒に生きる

少しずつ園地の雪解けが進むと、雪の中に隠れていた剪定した枝や木の低い場所の枝が見えてきました。冬の間に小動物が剪定した枝の皮を食べていたり、りんごの芽を食べていたり、雪の中に穴を掘って過ごしていた形跡を見つけました。

冬の間もりんご園では小動物達が一生懸命生きているんだと感じました。りんごの木に影響がでる場合もありますが全部をマイナスにとらえる事なく、自分達で改善出来る事を考え、共存・共生していければと思います。 佐藤



りんごの花ギャラリー

今年もりんごのつぼみをプレゼントしました。
「りんごの花が咲いたよ♪」と嬉しいお声をいただきました。



東京都さま



山形県Yさま



福井県Yさま



京都府Wさま



東京都Uさま



青森りんご産地直送

大湯ファーム

〒036-8124 青森県弘前市石川字石川64
TEL: 0172-49-7890
FAX: 0172-55-0257

メール: info@ooyufarm.com
ホームページ: <http://ooyufarm.com>